

【平成 15 年度学会賞・奨励賞の受賞者】

[学会賞]

小野公一氏 垂細亜大学経営学部教授

受賞対象研究：小野公一著「キャリア発達におけるメンターの役割 —看護師のキャリア発達を中心に—」
(白桃書房, 2003 年)

その他参考とした研究：小野公一著「職務満足度と生活満足感」(白桃書房, 1993 年), 小野公一他共著「働く女性のメンタルヘルス」(同朋舎出版, 1989 年), 小野公一著「“ひと”の視点からみた人事管理」(白桃書房, 1997 年)。その他論文多数。

受賞理由：小野氏は、早い時期から各種職業領域を対象に「メンター」に関するきめ細かな調査研究を精力的に進めてこられたが、今回直接受賞対象となった上記の内容は、看護師が、実際に働く場で、誰が主要なメンターであり、メンタリングがどのように機能しているか実証的に研究してきたものである。多くの示唆的内容が含まれ、看護師のキャリア発達に役立てることが可能となるだけでなく、他の職能においても十分活用が期待でき、応用心理学の分野に大きく貢献できるものと期待できる。

[奨励賞]

田中堅一郎氏 日本大学大学院総合社会情報研究科助教授

受賞対象研究：田中堅一郎「組織市民行動と組織報復行動の生起・抑制に関する連鎖的モデルの検証」
応用心理学研究, 28 巻 2 号, p 124-134, 2002 年

受賞理由：職場における組織機能を促進する組織市民行動と組織を機能不全にする報復行動を取り上げ、「組織における公正さ」が、いかに職場の気分に影響を及ぼし、それが、どのように組織市民行動および組織報復行動に影響するかを究明したもので、労働環境改善に資する心理的要因を分析したところに研究の意義があり、今後の活躍が期待できる。